

女川原子力発電所におけるヒューマンエラーの傾向について

(第161回 女川原子力発電所環境保全監視協議会委員コメント回答)

2023年5月25日
東北電力株式会社

【ご質問】

- ① (若林委員)通常点検中などの定常状態と改良工事中などの非定常状態では、どちらがヒューマンエラーが多いのか。
- ② (長谷川委員)ヒューマンエラーの傾向は、他電力と比較してどうなのか、言える範囲内で構わないがまとめていただきたい。

第161回女川原子力発電所環境保全監視協議会（2022年8月30日開催）

【ご回答】

- ① ヒューマンエラー全体における非定常状態（安全対策工事を含む改良工事など）で発生したヒューマンエラーの割合は2020年度下期～2022年度上期の合計では1 / 2弱程度であり、定常状態で発生したヒューマンエラーの割合と有意な差はありません。

（2ページにて、概要についてお示しいたします。）

- ② 他電力のヒューマンエラーに関するデータは、お示しできるものがなく、比較ができませんでした。

① 定常状態と非定常状態のヒューマンエラーの発生状況

【ご質問】

- ① (若林委員)通常点検中などの定常状態と改良工事中などの非定常状態では、どちらがヒューマンエラーが多いのか。

【ご回答】

定期点検などの定常状態と改良工事などの非定常状態におけるヒューマンエラー数を比較すると、発生数に有意な差はない。

業務・作業管理プロセスなどを標準化しているため、定常／非定常による有意な差がないものと考えている。

【凡例】

■ 非定常状態（改良工事）のヒューマンエラー

ヒューマンエラーの発生プロセスが、安全対策工事を含む改良工事に属するものを区分

■ 定常（定期点検等）のヒューマンエラー

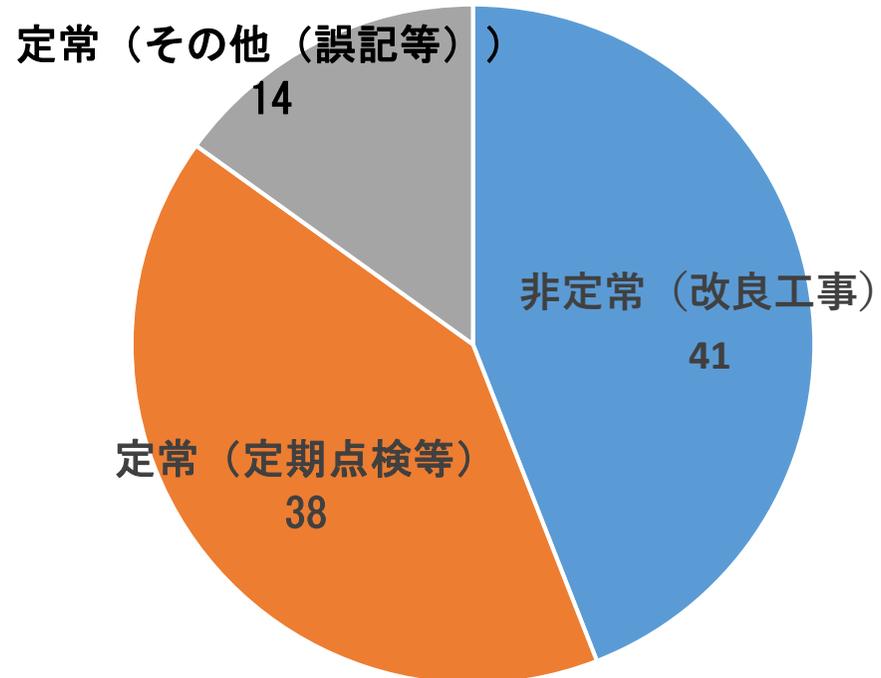
ヒューマンエラーの発生プロセスが、定期点検や日常点検に属するものを区分

■ 定常（その他）のヒューマンエラー

ヒューマンエラーの発生プロセスが、資料の誤記等事務所内での机上業務に属するものを区分

定常と非定常のヒューマンエラー発生状況

（2020FY下期～2022FY上期）（件）



- ◆ 非定常状態に起因するヒューマンエラーの発生数は、定常状態と同程度発生しており、優位な差はありませんでした。
- ◆ 2022年度は、ヒューマンエラー低減のため、効果的な現場観察活動ができるよう現場観察のトレーニングや構内協力企業との合同現場観察などに取り組みました。
- ◆ 2023年度は、昨年度の分析結果を踏まえ更なるヒューマンエラーの低減に努めてまいります。

以上